

雄渾

やって来た・・・

鋭い頂^{ちよう}にかすかに座る

見上げる塔はますます屹立して難しい

仁王^{な・ん}の何と高い、怒りではない

あらゆる仏像にますます力みなぎり

地底を揺すぶる、その筋^{きん}のわななき

蔵^{うち}の中なる碧い器は自ら角^{かど}を輝かし

目を切る、その剣のおぞましき叫び

私はたまらず、両手で目を覆う

突き抜ける天に上る痛さに

その時

梵鐘の響きが、次元を超えて

割れた

そっと手を放したら

確かに自分の今、在ることが

確かに地面から伝わってきた

(1982.2.11)